

# 発電所だより

7月号

平成25年7月発行 東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp/>

## 《皆さまに支えられて女川原子力PRセンターが30周年を迎えました》

女川原子力PRセンターが本年度で開館30周年を迎えました。

PRセンターは、女川原子力発電所1号機の営業運転開始（昭和59年6月）の1年前、昭和58年4月に開館しました。

開館以来、国内外、地域、年齢を問わず、多くの方にお越しいただいており、これまでの来館者は112万人を超えています。

これからも地域の皆さまに親しまれ、気軽に足をお運びいただけるようなPRセンターを目指し、スタッフ一同頑張っております。

引き続き皆さまのご来館をお待ちしております。



### PRセンター略年表

昭	58年	4月	女川原子力PRセンター開館
和	59年	6月	女川1号機営業運転開始
	59年	10月	来館者10万人達成
平	2年	3月	改装オープン
	5年	4月	ニュートンのりんごの木植樹
	5年	6月	来館者50万人到達
	7年	7月	女川2号機営業運転開始
成	14年	1月	女川3号機営業運転開始
	18年	6月	来館者100万人突破
	23年	3月	東日本大震災により休館
	24年	4月	再オープン



←発電所・PRセンター建設前の風景

昭和58年4月18日 PRセンターに初めてのお客さまをお迎えした時の様子



←毎年、多くのりんごを实らせるニュートンの木



来館者100万人突破を記念し制作されたオリジナルキャラクター「ごろたん」。モチーフは女川の海に生息するダンゴウオ



## 《「こんにちは訪問」を実施しました》

6月4日から14日にかけて、定例の対話活動「こんにちは訪問」を実施しました。

この活動は、発電所員が地域の皆さまのお宅を訪問し、発電所に関する情報をお知らせするとともに、発電所に対するご意見などをお聴きすることを目的に平成6年より実施しているもので、今回が23回目となります。

期間中、発電所員が2人1組となり、先日工事を開始した防潮堤のかさ上げなど女川原子力発電所のさらなる安全性向上に向けた取り組みを話題に、女川町と石巻市の牡鹿半島部約4,400戸を訪問しました。

訪問の中で、皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の発電所運営の参考とさせていただきます。

当発電所では、地域の皆さまから信頼される発電所となるよう、今後ともさらなる安全性の向上に向けて全力で取り組んでまいります。



## 《新しい火力原子力本部副本部長 女川駐在地域統括が着任しました》

6月26日付で、火力原子力本部副本部長 女川駐在地域統括の齋藤光春が本店広報・地域交流部長に転出し、後任として前宮城支店副支店長の田山直樹（たやまなおき）が着任しました。



このたび火力原子力本部副本部長 女川駐在地域統括に就任いたしました田山直樹です。

地域の皆さまに信頼される発電所を目指して全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 《防潮堤かさ上げ工事を開始しました》

5月29日から防潮堤のかさ上げ工事を開始しました。

本工事は、より安全性を高め、地域の皆さまにご安心いただく観点から、自主的な対策として、現在の高さ約3mの防潮堤（海拔約17m）を約15m（海拔約29m）にかさ上げするものです。工事に先立ち工事関係者約40人が出席し、安全祈願祭が執り行われました。

平成28年3月の完成を目指し、現在は本格工事に向けた地質調査（ボーリング調査）などを行っています（平成25年6月末現在）。



## 甘川原子力PRセンターからのお知らせ

### 「第12回 東北電力図画コンクール」開催!!

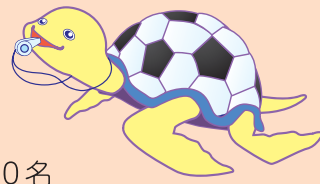
当発電所では、未来を担う子どもたちの「想像力」と「考える力」を育み、個性や才能を伸ばすお手伝いをしたいという思いから、毎年、小学生以下の皆さんを対象とした図画コンクールを開催しています。

昨年は過去最多の4,966点もの作品をお寄せいただきました。

今年も以下のとおり図画コンクールを開催いたしますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

### テーマ 想像の海の生きものたち

「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう!



**【募集期間】** 7月20日（土）～8月31日（土）

**【対象】** 小学生以下の皆さん

**【表彰】** 最優秀賞／1名、優秀賞／7名、各審査委員特別賞／9名、奨励賞／20名  
※ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈いたします。

**【用紙】** A4（210mm×297mm）の画用紙に描いてください。

**注意事項** 一人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。  
・絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵などで描いてください。  
・貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集等の作品は選考対象外になります。  
・応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。応募作品の返却はいたしません。

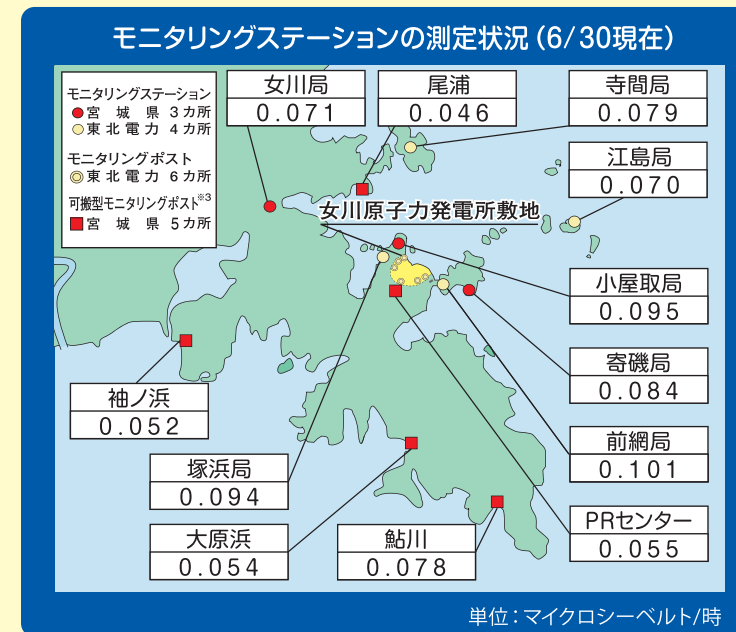
お問い合わせ  
応募先

女川原子力PRセンター内「東北電力図画コンクール」事務局  
〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123  
TEL/0225-53-3410  
開館時間/9:30～16:30（8月19日（月）は休館）

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.071マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



モニタリングポストの最小値と最大値

年	測定日	測定値 (μSv/h)
平成23年	3月11日	0.027～0.064
	3月13日	1.8～21※4
平成25年	1月1日	0.055～0.076
	2月1日	0.053～0.073
	3月1日	0.055～0.077
	4月1日	0.055～0.076
	5月1日	0.053～0.074
	6月1日	0.052～0.073
	6月30日	0.051～0.071

単位：マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日（平成23年3月13日）の値、至近6カ月の値を掲載しています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。